

「名寄市まちづくりアンケート調査」

【事業者向け】

《自由意見》

令和7年11月

名寄市

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問5. 名寄市で活動を行いやすい、行いにくい理由

No.	業種	活動を行いやとい感じか	その理由
1	運輸業・郵便業	どちらかといえば事業活動を行いにくい	大都市、大消費地との距離があり、業務の受注や運行距離のリスクがある。又、各都市発から受注地までの経費が嵩む。運賃への転嫁はむずかしい面がある。それに伴う行政の支援も薄い。
3	サービス業	どちらかといえば事業活動を行いやとい	会社設立の趣旨や理念が当初よりこの地域に密着した内容の業務を行うための組織であるため。
4	建設業	どちらともいえない	大きな仕事があれば良いですが、ない時との差があるので。
9	建設業	事業活動を行いやとい	名寄市にて開業して75年がたち、地域に根ざした活動をしてきたので
10	建設業	どちらともいえない	人材の確保に苦労する。近隣圏域の人材の絶対数が少ないため広域で採用活動するが、応募は札幌営業所配属の希望が多い。事業の維持はできているが拡大を考えた時に都市部での営業も選択肢として必要と感じる
11	サービス業	どちらかといえば事業活動を行いやとい	事業内容が季節性の業務なので、業務執行体制を構築しやすい
13	医療	どちらかといえば事業活動を行いやとい	ICTを活用し、医療介護の連携がとれている。街がコンパクトなため、地域の状況の把握もしやすい。
14	介護・福祉	どちらかといえば事業活動を行いやとい	他事業所とのコミュニケーションが取りやすい環境である為
15	介護・福祉	どちらともいえない	福祉サービスのため、様々なケースがあるので何とも言えない。
16	電気・ガス・水道業	どちらかといえば事業活動を行いやとい	今のところ公共工事が継続して発注されている為
18	交通(バス・タクシー等)	事業活動を行いやとい	利用していただいているお客様が名寄市民をはじめ、近隣の町村の方であるので
19	製造業	事業活動を行いやとい	事業活動を行う上で必要な基盤や支援が整っており、安心して取り組める街だと感じています。商品を積極的にご活用いただけるなど、皆さまのご支援に感謝しております。
20	介護・福祉	どちらかといえば事業活動を行いやとい	住んで居る人の顔が見える環境だから

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問5. 名寄市で活動を行いやすい、行いにくい理由

No.	業種	活動を行いやといふと 感じるか	その理由
21	介護・福祉	どちらともいえない	人材不足
22	飲食業	どちらかといえば事業 活動を行いにくい	出店場所等に制限がある
23	卸・小売業	どちらかといえば事業 活動を行いやすい	出張撮影では風連-名寄の距離はそこまで負担にならない距離感にあるので即日納品 でも届けやすい距離があるので
24	サービス業	どちらかといえば事業 活動を行いやすい	事務的な国や道の出先機関が多くあり、会社の事務的な作業を迅速に処理できるか ら。
26	建設業	どちらかといえば事業 活動を行いやすい	小規模事業所に取って町の規模が適度で大きく発展はしないが、暮らしやすい
27	製造業	どちらかといえば事業 活動を行いにくい	近年は旭川市などからの業者が、市内への営業回数が増えている。市内同業者も対抗 処置として、ダンピングなどを行うところも出てきた。
28	建設業	どちらかといえば事業 活動を行いにくい	各官庁の出張署(所)の営繕工事を永く続けて来ましたが、直営の作業に当たる職員、 技術工の激減により難しくなって来ている。又、民間の仕事についても市外業者の台頭 が目立つのと、市内業者1社に絞る煩しさ、しがらみから逃れたいという風潮になって來 ている。
29	卸・小売業	どちらかといえば事業 活動を行いやすい	①知り合いが多い②行政の仕事が一定程度ある③交通の要所で近隣の市町村へ営業 に行きやすい
30	運輸業・郵便業	事業活動を行いや すい	同じ職種及び行政との友好が保たれているため
31	卸・小売業	どちらともいえない	他の町や地域との比較という点では、わからぬいため
32	医療	事業活動を行いや すい	行政、他事業所の人の顔がわかるので、話しやすい
33	介護・福祉	どちらかといえば事業 活動を行いやすい	関係機関との連携が取りやすいため
34	建設業	どちらともいえない	主となる事業活動が公共工事となるため

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問5. 名寄市で活動を行いやすい、行いにくい理由

No.	業種	活動を行いやすいと感じかるか	その理由
35	電気・ガス・水道業	どちらかといえば事業活動を行いやすい	弊社の場合、名寄市以外の近隣市町村も管轄しているため名寄市に限った話ではないが、日常より弊社事業に対してご理解とご協力をいただいている認識である。
36	飲食業	事業活動を行いやすい	自衛隊、大学等ターゲットとなる客層が他地域より多く感じる
37	介護・福祉	どちらかといえば事業活動を行いにくい	募集しても職員が集まらない
38	金融業	事業活動を行いやすい	個人も法人もフレンドリーであり、同業者間でも良好な関係を築いていられるため。
39	介護・福祉	どちらかといえば事業活動を行いやすい	相談しやすいところ
40	建設業	事業活動を行いやすい	地域の方々と知り合いが多い為、何に対してもやり易い
43	飲食業	どちらかといえば事業活動を行いやすい	都会より人とのつながりが近いから
44	一次産業(農業・林業等)	どちらともいえない	同業他社が少なく事業活動が行いやすいが、同時に同業種の事業者が少なく下請に出しづらい。
45	運輸業・郵便業	どちらかといえば事業活動を行いやすい	競合が少ない
46	介護・福祉	事業活動を行いやすい	いい意味で狭い地域性
48	建設業	どちらかといえば事業活動を行いやすい	行政が発注する工事を受注しながら、地域課題解決のパートナーとして企業は努力しているところですが、もう少しその解決の場があつても良いのではないか。
52	介護・福祉	どちらともいえない	職員確保が難しい。日曜日、祝祭日に保育所が休むことで女性の社会参加の低下につながっている。それにより経済活動が縮小せざるとえない。
54	不動産業	どちらともいえない	今の所、社員数に見合った事業量がある。 これ以下の人口になると厳しいことになる。
55	介護・福祉	どちらかといえば事業活動を行いやすい	市内での需要があるため施設運営にとくに問題が無い

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問6-1. 課題についての詳細

No.	業種	課題についての詳細
1	運輸業・郵便業	燃料費の高騰が一番の課題。
3	サービス業	人材不足と従業員の高齢化は市内全産業の共通課題、必要な人材の確保が困難であるため、従来から行っている業務をこなす事も徐々に困難になりつつある。仕事があつても受けられないなど、機動力を低下せざるを得ない。加えて、予想を超えての物価高騰等の影響もあり、今後の受注にも不安要素あり。
4	建設業	若い子達が入って来ない、育たない
9	建設業	人がいないため、技術の伝承ができない・高齢化が進む
10	建設業	人材の確保については相当な投資を行っている。一人前と呼ばれるまではかなりの期間かかるため経費増に対応しなくてはいけない。名寄地域で考えると事業量の低下が考えられるので民間投資の掘り起こしや都市部への営業展開などを考えないといけない
11	サービス業	職員の高齢化に伴う若年者の募集しているが、人材が乏しい
12	介護・福祉	介護を担う人材の不足(日本人)、物価高騰しているが施設利用料金を上げることは本人、家族の負担が大きい為大きな課題となっている
13	医療	人材不足:本当に資格のある人がいないのか、事業所の業務に魅力がないのかはっきりわからない。 後継者不足:人材不足のため、後継者として育てることもできない。
15	介護・福祉	物価高騰や様々な単価値上げや、事業所の老朽化によって修繕箇所が増えていること。

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問6-1. 課題についての詳細

No.	業種	課題についての詳細
16	電気・ガス・水道業	人材不足に関して求人募集をしているが入ってこない。 ハローワーク以外も求人募集をしてみたが北海道にUターンを考えても名寄に就職する人がいない
18	交通(バス・タクシー等)	人材不足と従業員の高齢化は年々対応に苦慮している 社屋の老朽化による修繕も売上減少により難しい
19	製造業	人材不足・高齢化、労働環境の変化と人件費の上昇 年金受給年齢の引き上げ等により従業員の高齢化が進んでいます。 物価高などで経営の先行きが不透明なこともあります、新しい人材募集をためらってしまう状況です。 また、法改正による残業規制などから、効率的な働き方の導入が不可欠となっています。 施設の老朽化 工場など長年使用している施設や設備が老朽化しています。 改修や修繕を依頼しても、地元の建設業者や修繕業者が人手不足で多忙なため、すぐに対応できず改善が進みにくい現状です。 物価高による消費への影響、時代に合わせた事業活動の遅れ 原材料や光熱費、人件費などのコストが上昇する中、価格転嫁を行うと販売数量が減少してしまいます。 日々の販売や製造など現場を回すスタッフは確保できていますが、新たなことを考えたり挑戦したりできる人材が不足しています。 そのため、“バズる”商品の開発やSNS発信など、時代に合わせた事業活動に十分取り組めていません。
20	介護・福祉	介護に関連する事業に対して圧倒的に求職者がいない。また、介護保険で頭が押さえられているため、給与も高く払えない
21	介護・福祉	人が少ない、次世代が育たない
22	飲食業	地域活性化の運動化
23	卸・小売業	資材費の価格高騰にどう対応するか

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問6-1. 課題についての詳細

No.	業種	課題についての詳細
24	サービス業	前設問回答の通りです。
25	その他	人材の確保
28	建設業	建設業に興味を持つ子供達も数は少ないがいる事は確かですが、就職となった時、やはり親・学校の先生に相談するそうです。一様に給料は良いかも知れないが仕事はキツイと言われたり、休みが少ないと言われる、との事で私共のPR不足が要因。
30	運輸業・郵便業	物価高騰による消費者の負担が増えて仕事量が減る不安。 人手不足と人材育成の両立するのが難しい。
31	卸・小売業	人手不足のため、1人の人間が多く仕事をこなさなければならない。
32	医療	リハビリ職の不足、採用するにも新規開業したばかりで資金が少なく見通しが立てられない
33	介護・福祉	資金があれば人材確保も容易だが、増税や物価高で逆行している。少子化対策も何十年も前から不十分で日本人が減っている。外国人を増やせば労働人口の供給過多で平均賃金が下がる。政府のやっていることが裏目に出ていると感じます。
34	建設業	建設業への就職希望者が少ない。地域に専門的な学校がないため建設業に関心が薄い。
35	電気・ガス・水道業	「人材の不足・新規人材の確保」に関しては、入社しても短期間で退職するケースが多くなっているため、人員不足による業務の進捗遅延・世代交代が課題となっている。「物価高騰と価格転嫁」に関しては、計画的に老朽化設備の更新を行うため実施予定年度の数年前から予算案を策定しているが、資材の購入等の際に予算が不足するケースがある。 「活動PR」に関しては、職種的に活躍内容および商品自体がわかりにくいため、弊社独自イベントによるPRを行っても集客が見込めない。
36	飲食業	高校、大学を卒業後名義での就職希望者が少なく、大学生のアルバイトメインで運営しているため、テスト期間や長期休暇の時期はかなり厳しい

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問6-1. 課題についての詳細

No.	業種	課題についての詳細
40	建設業	1~4については、人が入ってこない為、対応が困難である。また、それにともない従業員もどんどんと高齢化になるため課題はつきない。 7については、年数がふるくなれば古くなるほど、色々な所が悪くなっていくのが現状。建替えをしたいが予算等が厳しい。
43	飲食業	毎月のように値上がりの連絡が来る
44	一次産業(農業・林業等)	人材不足は全国的な流れなのである程度仕方のない事と思うが、森林所有者の後継者不足も深刻で森林を手放したい所有者が多い。所有者が見つからず未相続となると森林放棄地となってしまい、森林が荒廃しかねない。
45	運輸業・郵便業	燃料価格の高騰により経費負担の増加 資材の高騰により事務所改修が困難
46	介護・福祉	なり手不足
48	建設業	全ての職種共通であるが、少子高齢化・労働市場の変化、企業の採用戦略の不備など。
54	不動産業	人材育成に係る事業量。
55	介護・福祉	日本人の人材不足

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問6-2. 課題改善のために必要なこと

No.	活動分野	課題を改善するために必要なこと
1	運輸業・郵便業	国の燃料高騰対策(消費税の軽油に対する減税、暫定税率の廃止)
3	サービス業	・定年退職者の雇用を継続 　・高齢者の積極雇用 　・雇用者確保に向けた就労意欲を促進させられる職場環境づくり
4	建設業	給与・福利厚生などの改正 就業規則・休日などの見直し
9	建設業	人を増やす
10	建設業	経費増を価格に転化しつつ競争に勝たなくてはいけない。名寄地域においては地域外からの投資を呼び起こすような営業が必要
11	サービス業	若年者採用への支援(技術、資格、試用期間中の支援)
12	介護・福祉	人材派遣(通院対応や介護補助業務等。利用者の身体介護は急に派遣で来ても難しいと思う)。物価高騰に対する国や自治体の補助。
13	医療	事業所業務の魅力の発信。(当法人でインスタの投稿を実施) 地域の人口増加
15	介護・福祉	物価や値上げに応じての適切な予算立て。人材の育成については、外部の研修に決まった職員のみが参加するのではなく、様々な対象の研修に参加できればと思う。
16	電気・ガス・水道業	名寄市自体は住みやすい街だと思いますが移住者や学校に転入される方や小中高学生が居る家庭に対しての補助があると良いと思う
18	交通(バス・タクシー等)	人材育成の早急な取組、免許取得に関する問題の解決

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問6-2. 課題改善のために必要なこと

No.	活動分野	課題を改善するために必要なこと
19	製造業	<p>人材不足・高齢化、労働環境の変化と人件費の上昇への対応 若い人材が定着できるような環境整備(働きやすさや住みやすさのPR、移住・定住支援) 法改正に対応した柔軟な働き方や業務効率化を進めるための、デジタル化や省力化投資への支援 施設の老朽化への対応 改修や修繕にかかるコスト負担を軽減する補助制度の充実 工事を円滑に進めるための地域連携や支援体制 老朽化対策を先送りせず、段階的に改善していくようなサポート 物価高・時代に合わせた事業活動の遅れへの対応 仕入れコスト上昇に対応できる助成や、地元消費を促す取り組み(プレミアム商品券、地域イベントなど) “バズる”商品づくりやSNS発信に挑戦できるような人材や外部専門家との連携、広報・マーケティング支援</p>
20	介護・福祉	名寄市独自の人材確保の仕組み作り
21	介護・福祉	今はわかりません
22	飲食業	観光・商業・スポーツ・イベント・子育てなど相関的に連動するよう官民から人材を集めた組織で長期的なまちづくりの実施
23	卸・小売業	要所要所で値上げせざるを得ない
24	サービス業	絶対的な子供の数が少ないなかで、全産業で取り合いになっているので、、、そういうことです。
25	その他	逆におしえてください
27	製造業	当該部署担当者の意識改革。地元業者での作成が無理と思われても、外注などの対応で地元の経済が向上する。

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問6-2. 課題改善のために必要なこと

No.	活動分野	課題を改善するために必要なこと
28	建設業	国内外で最も重要なひとつのインフラストラクチャーを支えている建設業のPR、そして現場や事務所に親子共々の見学会を多くする事が必要かと思います。そこで、仕事の内容、勤務実態、休日と年俸等を説明する事も必要と考えます。
30	運輸業・郵便業	物価の安定。 人口増加。
31	卸・小売業	優秀な人材の登用
32	医療	現在の職員で運営の安定化
33	介護・福祉	減税、公費投入を行い家庭の経済状況を改善すること
34	建設業	若い世代が、この地域で生活していこうと思える環境
35	電気・ガス・水道業	「人材の不足・新規人員の確保」に関しては、社内全体で、「SO & HIGH PROJECT」というのを立ち上げ、各種PR活動を実施しているほかインターンシップ活動を実施しているが、まずは弊社事業そのものを知ってもらい、興味を持っていただくことが必要と感じている。 「物価高騰と価格転嫁」に関しては、早期の工事発注・資材の購入等により確実に予算内で完了させることができると感じている。 「活動PR」に関しては、独自イベントの効果が見込めないことから各市町村等のイベントへの参画について模索していきたい。
36	飲食業	地元企業への就職希望者を増やす
43	飲食業	核となる商品を作る

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問6-2. 課題改善のために必要なこと

No.	活動分野	課題を改善するために必要なこと
44	一次産業(農業・林業等)	森林経営については、ある程度森林組合が事業を請け負い、国の補助制度を活用すると所有者の負担は軽減するため、森林を持つ重荷にはならないと思うので活動のPRを積極的に行いたい。
45	運輸業・郵便業	利益の増収 企業向けの政府支援策 コスト削減
46	介護・福祉	ケアマネジャーの給与と、魅力向上
48	建設業	企業の採用戦略と企業イメージの改善及び企業の姿の見える化。
54	不動産業	均一な、事業量の確保。

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問10. 自由意見

No.	活動分野	自由意見
3	サービス業	数少ない若者が地元に魅力を感じ、定職につける環境のため、既存の企業が健全で魅力ある形で活動を継続できるようにならないと地域は終わります。
10	建設業	外から人に来てもらうには、今いる市民が住みやすいと心から感じられることが重要だと考える。基本的なところで若手世帯がそう思えるような施策が必要ではないか。道が綺麗とか公園が充実しているとか子育てしやすいとかはその基本的なところで、そこが満たされたることによって買い物環境や活気ある街の雰囲気などもついてくるのではないか。
11	サービス業	デジタル技術を活用するときの行政のアドバイス 市役所内に 民間事業者に対して業務のデジタル化支援に必要な人材育成
14	介護・福祉	人口の減少を食い止め、若い人材がここに長く最期まで住み続けたいと思える街づくりをしてください。
15	介護・福祉	事業における資金の見通しなど計画的に進めてもらいたい。
18	交通(バス・タクシー等)	これからは事業者からの提案型での事業推進が必要だと思います
19	製造業	名寄市として進めたいまちづくりの方向性と、私たち事業者の活動は必ずしも一致するものではないかもしれません、地域観光産業の一端を担う立場として、できる限り協力していきたいと考えております。 今後は、市役所の皆様や地域おこし協力隊の皆様、市内事業者の皆様と連携しながら、名寄市全体の魅力を高め、より活気あるまちづくりに貢献していけば幸いです。
20	介護・福祉	介護関連施設や事業者の連絡を密にし、名寄市がリーダーシップをとって、名寄市の介護等の方向性を市民に見せることが重要、分析や方向性だけでは未来は作れない

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問10. 自由意見

No.	活動分野	自由意見
21	介護・福祉	人材確保
22	飲食業	名寄市の未来が見てこないので10年後、20年後の、30年後の将来の姿を明確に打ち出して欲しい。
23	卸・小売業	あんぐんや冬まつりも無くなり風連のイベントが減ってきてるのでう少し行政として市職員、資金等の支援をしていただき、風連を盛り上げてほしい。 また難しいのは承知していますが、風連にも宿泊施設は必要だと思う。
24	サービス業	『自分のまちに誇りと責任をもち、みんなで話し合いながら、住みよいまちをつくり』 一度出て行った若者たちがいざれ戻ってきたくなるまちを創ること。 それには 『知性と感性をみがき、こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、希望に輝くまちをつくる』ことも大事だと思います。
27	製造業	小規模事業所でも環境問題(ゼロカーボン対策)の促進などに、協力をしています(設備など)。 地域も含め近年の環境変化について、もっと危機感を持って身近なことからの環境対策をアピールし、基幹産業でもある一次産業の安定化を図ることも大事と思う。 人口増対策も必要事項だけれど、住みたくなるまちづくりを目指すことが第一。
29	卸・小売業	どのエリアに公共投資を集中するか、ベクトルを示しながら、各種補助支援と連動させて進んでいく必要がある。商工業者が建物の改修や建替えを進めるには、その辺が更にハッキリしていないと思い切った設備投資が出来かねる。
32	医療	高齢化が進む中で、貴重な働き手が安心して働くことのできる職場が増えていくといいなと思います。
33	介護・福祉	政府の外国人優遇政策にのらず、日本人を優遇してください。 特に農業は手厚く保護してください。

事業者向けアンケート調査(自由意見) 問10. 自由意見

No.	活動分野	自由意見
34	建設業	若い人から高齢者まで、住みやすいまちづくりが必要と思うので、何が必要で何が不足しているのか、先のことも重要であるが今の現状を十分検討してこのまちをどのように残していくのかを、わかりやすく市民へ説明していくことを望みます。
35	電気・ガス・水道業	<p>名寄市は、旭川以北において稚内市に次ぐ規模の街であり、かつ、地理的にも上川北部、留萌北部、宗谷地区を結ぶ中間的な位置に所在しているため、名寄市の発展・活性化なくして旭川以北の発展はなり得ないとと思っているが、旭川以北の人口が減少していることを踏まえると、発展していくことは容易ではないと認識している。</p> <p>名寄市が発展・活性化していく方法のひとつとして、今後取り組もうとしている物流化拠点構想を早期に実現することで人・企業の増も見込み活性化に繋がっていくのではないか。</p> <p>弊社事業との関連を述べた場合、電力量の消費が収入源となっていることに鑑みると名寄市の発展・活性化は必然的に消費電力量の増加が見込まれるため、協力していきたいと考えている。</p> <p>上記以外では、財政面やリソース面で容易に実現できないことも承知しているが、市内中心部の活性化と市役所庁舎を含めた市の施設の老朽化対策が実施されると更なる活性化が期待できるのではないか。特に市役所庁舎は、市の顔であるためリニューアルすることで外部への印象も向上し、新たな活路が見い出せるのではないか。</p> <p>また、名寄市は降雪量が多いことにより、その期間の外仕事や外出がきつい。そのため、将来的には車を利用せずに生活できるような都市整備を行うのも人口増となり、活性化していくのではないか。</p>
36	飲食業	物価高対策を早急に進めてほしい
44	一次産業(農業・林業等)	名寄市の公共施設には木を感じさせる建築物が少ないように感じます。内装材など肌に触れる場所に道産材や地域材を使った空間があると良いと思います。
46	介護・福祉	子供たちが、将来も住みたい街、働きたい街、子供を名寄で育てたいと思える街づくり
48	建設業	問8にもあるように、事業者と行政が協働のまちづくりを進める上で、それぞれの役割を明確にして、その役割を果たす事が重要である。そのためにも、進むべき道・将来の姿を見える化させる事が必要ではないでしょうか。

問6. 活動の中で感じる問題点・課題

No.	活動分野	その他
23	卸・小売業	家族経営なので従業員はいないので別な仕事が同時刻にあると人員に困る。特に学校関係の行事は同じ日が多いので。
27	製造業	市内事業所、行政も他地域業者への発注が増えている
29	卸・小売業	事業後継者の出会いの創出が不足している。さいたま市では、商工会議所と市が連携して、マッチングアプリを活用した取り組みを数年前から始めている。
43	飲食業	設備投資

問7. 活動充実のために市に期待すること

No.	活動分野	課題についての詳細
24	サービス業	生産性向上に掛かる設備投資への支援。
27	製造業	地産地消の観点から、地元業者の優先

問8.活動充実のために地域や市民に求めること

No.	活動分野	課題についての詳細
54	不動産業	いろいろな課題が、中途半端であり議論がなされていない。